

自動車ユーザーが選ぶ 2009年自動車重大ニュース

～ 「1000円高速道路」が第1位 ～

振り返れば、2009年は何かと車の話題の多い一年だったが、そうしたなか自動車重大ニュース第1位に選ばれたのは「1000円高速道路」だった。他のニュースに比べ、より多くの方が実際にメリットを実感できたことが1位選出の理由だろうか。新政権はさらに高速道路の無料化を打ち出しているが、これにはCO2の増加につながると反対の声も多い。

第2位は「エコカー減税・補助金」。2009年の乗用車販売台数(軽含む)は2008年を7.2%下回ったが、この施策がなければさらに販売が落ち込んだことは確実で、景気の下支えに貢献したことは間違いない。補助金については2010年9月までの延長が決まったが、景気回復の兆しが見えない中、期限切れ後の反動に不安の声が上がっている。

第3位は「プリウス vs. インサイト ハイブリッド車対決」。トヨタ対ホンダという分かりやすい構図は、メディアに様々な形で取り上げられ、久々に車の話題で巷が盛り上がった。

第4位の「GM破綻」と第11位の「電気自動車」は、その順位を意外に感じる人がいるかもしれない。4位のGM破綻は、アメリカの象徴のような企業でも破綻してしまうという今回の不況の深刻さと、これにオールドファンの郷愁が加わった結果か。また2009年は電気自動車が初めて市販されたことで電気自動車元年と言っても良い年であったが、ハイブリッド車の話題性と実際の売れ行きに対してインパクトに欠けたということかもしれない。

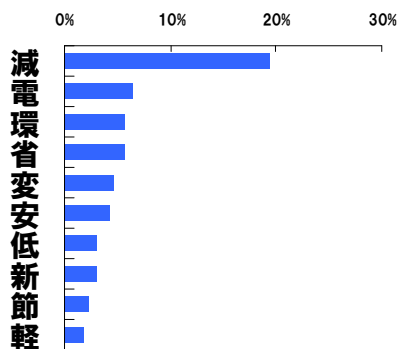
Q. あなたが考える今年の自動車重大ニュースは？ スコア
(回答率)

第1位	1000円高速道路	67.5
第2位	エコカー減税・補助金	55.0
第3位	プリウス vs. インサイト ハイブリッド車対決	37.2
第4位	ゼネラル・モーターズ(GM)が経営破綻	35.4
第5位	自動車メーカー各社 F1から相次ぎ撤退	28.0
第6位	東京モーターショー 外国車勢出展見送り、来場者数も減少	14.0
第7位	中国の自動車販売、米国を抜き世界一に	11.7
第8位	トヨタ、米でリコール(フロアマット問題)	11.5
第9位	スズキ、独フォルクスワーゲンと資本提携	9.3
第10位	インドで超低価格自動車ナノが発売	8.3
第11位	三菱とスバル、相次ぎ電気自動車を発売	4.5

※今年話題になった自動車関連ニュースを11提示。そのうち重大ニュースと思うものを3つまで選んでもらい、回答率(スコア)の高かった順にランキングした。

～ 2009年の一字は「減」～

Q. 自動車に関する今年の一字は？



「減」が2割近くで圧倒的に多かった。「減」税や高速道路の「減」額を理由に挙げる人が多く、自動車販売や売上の「減」少という回答も目立った。

2位は「電」。「電」気自動車や「電」池を搭載したハイブリッド車がその理由。

3位は「環」。「環」境に配慮した車が増えた、など。エコを「環」境と読み替えて「環」を挙げる人が多かった。

新 しい年に自動車メーカーに何を期待しますか——調査の最後にこんな質問をしました。多かったのは「エコカーの低価格化」や「ハイブリッド車の車種を増やして欲しい」といった意見で、おおよそ予想の範囲内ではあったのですが、意外と「日本経済を牽引して欲しい」「外国に負けないで」など日本車メーカーを応援する声が多く聞かれました。

自動車産業が日本の基幹産業であり景気や雇用に大きな影響を与えること、また性能や技術面で海外に誇れる産業であるという認識が、日本車メーカーを応援する気持ちにつながっているのでしょう。輸入車メーカーにとっては見えない壁と言えるかもしれません。



ユーザーに「応援したい」と思われることは、企業やブランドにとって非常に心強いことだと思います。そして応援したい気持ちには様々な形があるはず。「顧客をどう獲得するか」から「サポーターをどう増やすか」に発想を切り替えたとき、やれることがまだまだたくさんあるような気がしてきます。

調査概要

- インターネットオンライン調査
- 調査協力: (株)クロス・マーケティング
- 回収数:966
- 対象者条件:
全国の18歳以上の男女、乗用車保有者(軽含)、新車購入者
- 実施時期 2009年12月16～18日
- ※グラフの数値は四捨五入のため必ずしも100%になりません

本レポートの著作権は(株)テイラーネルソンソフレス・インフォプラン(TNS Infoplan Inc.)に帰属します。本レポートで使用されているデータの所有権は(株)クロス・マーケティングに帰属します。無断での引用、転載は固くお断りいたします。

【本レポートに関するお問い合わせ】
TNS Infoplan オートモーティブ・セクター automotive.jp@tns-online.com
担当:古井 電話:03-3265-5612